長慶天皇御陵

関してあたが、自分も25C燃料機で膨出を除った。 で概念的き、関すやうに、整備を終

おの質り見用に次込み、まる一

た、五十曜も得る

一般死を禁げた、この時間者の腹床

し敬語であり不溶を贈ってあるといくよう、それは恰も鼠の温中に耐っぱの巨人の如き似さへ抱かせる

ではわれくの際土屋の一角

際であた〇〇体兵が防空環へ飛び に直腹痛を喰ひ、配者の五間先に

道然な航空を 版がラバウル上空或

だが全然無関には潜まされない

捕虜日く「地獄行」

はその近端で行ばれる以上、こ

ミレスに対し、アルゼンチンの民担政者ラウソンは十五日大統領ラ

『野水太潔智プミレスに資レ緻謹雅』 アイレスに 陽対して以来、ラウツ 『遠はれたのではたいかと見られる』 でた 月室配の 岩瀬 当 ラウソン 路 十一日 気密プラジル からブニノス 』 あるが、今回の最後 道際となって

であると見てある向もあるが、ブ をめぐつての層内意見對立の結集

見のに至った保障であると観りて 表が、今回の階級都能もこの問題、 加る、 たほ政府事か 入る指数を参 状なに対なんりかの対比の 一数を はないかとの偽態は成く行はれて 「関連に自動物師を都合とをといは ないかとの偽態は成く行はれて 「関連に自動物師を都合とをといば ないないかとの偽態は成く行はれて 「関連に自動物師を都合とをといば -ンと我に反政的級の例に頭と目さ -アルゼンチンが植物域に對して展 -エノスアイレス蒸電によれば政府

◆十日(次規綫數) 平日下八十樓 報閱機自七十樓, B5十四綫, B24十一棵,計二百九十五線, (應膜機數) 下BF出五線, P パウル来郷就機販内端は左の通り わが方の損害一機

四、二月十二日には來襲せる敵機約百六十機中その四十一機(うち不確實七機)を擊墜、

わが方の損害五機

九機を撃破した、わが方の損害八機

二月十四日には來襲せる敵機約二

一百二十機中その三機(うち不確質一機)を撃墜した

を撃破した、わが方の損害三機での十九機(うち不確實五機)を撃墜、十機で、二月十一日には來襲せる敵機約二百機中その十九機(うち不確實五機)を撃墜、十機

一月十二日には來襲せる敵機約二百四十機中その四十九機(うち不確實五機)を驟墜

ラバウルこそは態度の科學的要素

類の格納庫ではないか

いひ他様といひラバウルこそは火災はさすがに獲いが飛行場と

蔵司

令など戦死

のではないかといふ獣にある

ヤ欧福駅道路局は軍隊向物資輸発

南京大日園と金龗大田は南京大日園と金龗大田は、東口方面視察

米航空步將揚言

学大使

装甲貨物機重慶向輸送に

防御護能も解れてゐるととなけば体系に比して多層の

冀中軍區掃共戰、敵屍二百餘

である、たべこの要塞をころまで

に築き上げたのは人間の耐へ得る

【石門十六日同盟】輸出期と共民 「協師を企闘する第中軍馬に関レわった が結婚各部隊は異常なる常共闘を

信情期中には第七年分配司令部 加展三、幽群品小碗六二

重原向物質を輸送することがま で可以となったが、右国的達成

れ 本十六日 闘奏せられ 本十六日 闘奏せられ できた 共に現地質的を設けると共に現地質的を認けると共に現地質的を認けると共に現地質的を認けると共に現地質的を認けると共に現地質が表現した。

を勤むの實驗者皆大喜者望する方へ是非質習者。最短時日で能築を

立派に上達する不思議

な特殊技法。字で困る

イヤーは十五日次の通り掛記した カ軍航空部隊少将ストラット・メ 路の開後に躍起となってあるが、

ーユーデリ來電によれば、アメリ

監情報部では十六日左

には使用できるやうにならう、

陸海全路兵の努力の曝であった、めらゆる勢苦を耐へ恐んで融った

かつこの要素ラバウルに今後も思

を消はせ

血を消はせるのは

銃後三

令部及び鹽家院の合統即約三百餘十キロ)に於いて常中第七里區司

丹竹(鹰)

〕飛行場急

隊ならびに陸海軍地上部隊により撃墜せられたものは總計百八十二隊(うち不確實非一機)以除同十四日まで五日間に敵機來襲機敷延一千百廿一機に遂し、そのうちわが海軍航空部口が入土九日間出郷のシベウル聚磐線緊急関係激素機で破裂の転線は選ぶよくの源との二巻加八二月十日

百廿四機屠る

一、二月十日は來襲せる敵機約二百機中その七十機(うち不確實十二機)を廢除、十二機略破四十二機である、わが方の損害は十九機ビイ整盤結局の漁院協議職である、内跡の部

稷、計七十機(縣陸斯)下BF十

血は通ふ高角砲

正に神技、撃墜比率

シコルスキーの顕末版をわれわれ 関いて落ちて行く双順の高P38や 機も四機も吹き磨してある。煙を 大機と相手に空間の結果一世に三のけてある、一段が敵震闘機五程

噴上る巨大な火柱

B41(碳、碳酚酸三碳、針九機 一機(嘧酚酸盐) TB下四碳、

『女房や子供から傾りを取ふの 地がのも想しい、歌地で自分の別人に も嬉しい、歌地で自分の別人に も嬉しい、歌地で自分の別人に

れを超俗河畔に臨泊戦権し、

部を利中に退詰め左の職果を駆

サイケルでは場かを急走、競型。方を無線階が縦に使べた極限はよいのと非正十日間限1つが極端。 で利用計載してるためので、わが一般認能は上三日で後五時中分配。同恋行場は最近地が削減が出しと一般認能はよって

路及び的事施設の一部を燃除した一だし極大

であらう

側も確認

わが方に収容せる敬死的二〇

工

y

-

を指述、至めなる包閣職によりこ

は現地器兵全部の切置な機制で、死た時程掘しいとはない、これ

股關榜儿十五段、肚一百十八稷 十歲、B25十五段、B24廿八稷 二機、計三板(軽磁機の)なし (経路機س) B24一機、取開機

「銀町」つう歌十四と見たことが、一般の大陸を目掛けて印ます海洋側、蛇の裾裾に航の信事を完全に続ういいが混め入口で「温吹、馬嘘」 の形と指を影響する納の間から数 「仕様けたやうたは気候、馬餅番鯛の吹いと は何十年といる光芒を一層に照射

開一好え、たのもしい限りである 敵がマーカスに上陸し、グロース この空に新造機を 岬に捌煙したのちに内地から

死て見てびつくり

敵密集部隊に巨弾

他化して來た或る上電が

盗して

大攻勢に難じ得る日、

大売地である輸後の生産力にある

てゐる、同時にラパウルを一歩路 要なプバウルの守りは微壁を誇っ 守りは鐵壁、攻勢へ

のめしラバウルへ一歩も近役ら

空陸呼應、廿一

一機屠る

を與へたわが陸黙はさらに十四日

中戦によりといを四機

2 「附太平洋〇〇北町十六日同盟」 を ニューギニャ方面における際間は ウ 駅日前次を振り起窓町・りする欧 城 が の次既に関しりな際田守町地域は 嫌

にわたり敵に大揖獣を戦くてをりた航空部隊は激地に進攻して戦日 機撃隊の輝く大戦果を選ばる激機を選問して計廿二 期がた Pa計約九十機が 來襲し

部院はこれを集散に邀酌して、仝、たのをわが航空部隊ならびに地上

おけるわが方の損害は未斷過酸器 機一機、地上における損害は強と 計十四機變墜

一撃墜、また對空火器によ 撃墜、また對空火器によ

村が飛行場は厳睦常東部にあり 展が来に選が金融しつくかるで 駆が表した地にやくが調で行 側が表した地にやくと語で行 側が表した地にやりと語で行 脚が思ふやうとなったいため、 四地まで出版を推進したのは窓 一環に発す、単語等く者に据る の心の施客を紹元成してたる。

(本語であて、大の は勘がであって、大の は勘がであって、大の

→六日退任郷師挨拶のため來社 元來、哲情といふ 元來、苦情といふもの

はは以下なってある。その職権に 職合日本人は心を強め、保御の を入れても、関係がいても当時 は、関いはないるを関が、保御の 等、管理関係で耐しく範切とであるの は、、情報の形式をよる協助を当会 のは、、情報の形式をよる協助を当会。

ないのからし、神力 のでは、 のでは、

観される

内務幹令(土)目) 院機能式、戶澤 重 院機能式、戶澤 重 總督府辭令(五三) 渡 噩 瀧

COO 売地十八日同盟』わが開窓

消 息

原於東京五〇五四五 精 驗

十日間の人知れ四間に時間づつの小忍耐僅か 以避默深山到着一日二

せ給へのを記録を輝か 狯

櫻 木

響房

第一、 () () () () 0

予 三 育 錠 朝鲜販賣店 新井號品工藝株式賣館 實樂化學研究所 吸質品 排式食业 6 中四 武商店

関などに対する関係を、保険に映 彼の無法 非人道的なる 海流距標

す。個的は、脳利者のみが持ち付るかるのとりのむる行為と関係に示

◆大日本竹英曾法─國家的育英 アルバジル姉妹製品 炎腺桃扁 12炎耳中 12炎耳中 もう一押し押さつではないか。 非常的に必ず各戶で他へませつ。

樹粉の弱い穀苗作用、腫れた肉 刺傷、皮膚病一切に用ひて草敷用は朝ての外傷、やけど、常田 (有名類店にあり) 本部 無限製業株式会社 OHO H 8

が内切りなほ物語に置かれたこ 増和率は各税とも大統内地と同 たい物品をお

新しき物品と新たと演形され、特別はず刺と聞ってある前別の形式である。それから物品はに近いてい。木の根やとかげを含ってなほ は機関されたものもあるのは勿論。これはも単や熱止税と受取ってよ

統統当あらしめざるやう、若くは って、約松生活にも酸綻が來るか

部時教育非常指院方派について 教學的措置

國称との緊急化、北京國内政策の る外等は上班の別門が設定分野この規則下國政則然大綱は、艦艇と によって一人でも対くの人称を戦略年間政則然大綱は、艦艇と によって一人でも対くの人称を戦略により、

戦時即應の

に於ては紫紫朝鮮教育令の際に沿りをつけたものと同得べく、明鮮 れを以て一個歌時非常哲路の続

き、格別の関係がないかのやうに一種を現行の六年間にしたことの知

て、國民は消傷の支持を増むもの でない。取くは今大時間温校令な

で では、 連続に強い記を見るに設めている。

中最後の境帯については

つた自動、頭膜多数を繋がっると

共に、一部は思っく題もなく用下

解校を合して金陵に五十三校でる

変、工業、水前の四科目を主職と

ある、勝つためには競力の大切的際は前烈なる決戦を構返して

そ野船されて行

くのである。

いっつが特性を対していて、現はこれって、地球したりはしないで、現はこれって、地球したりはしないで、現はこれっ ら格当するかといる前因の工夫一 の眩厥をか何にして現在の生活か 如何なる大樹様に前面とうとも

・ 四階でいかないと王語の激計が証 たいといふことを、物質の配着が を対といふことを、物質の配着が

根本的に立て直す必要がある。さはこの地秘を機管に生活の設計を たいのは、景瓜生活を保護するだ て行くことは出來ないはずである うでなければいなこの財産となく それと同時に観覚として希望し

けで年に二十三百国間からの税金

の四年制施行を繰上げ、四に公私の四年制施行を繰上げ、四に公私

とするものであり、國民朋校の八 即順する指述を確するを見て目的

測器の決議化、関形則員の個大、 概としてあることを明かにしてあ にして刑別的なる戦力の増弱を目

| 振心、殿事義行力の人的増削、科| | 振心、殿事義行力の人的増削、各のの時間の | 大手電話とき回り飛歩前化方策の

郡職員に官吏訓

と激励し、午後三時世分頭水に向いた窓を一刻も早く前線にある。それにより窓間のはならぬ間が見かればならぬ

カ、四日早曜三時を押して漁賃。 れ、四日早曜三時を押して漁賃。

◇師超激賞会協正=選年前的基かしてその要量左の近し 日より戦権することになった、レ

型

四日以来の観況を見るに、終始

總督、麗水着

松せしめ、二年間を三年順によった。 現を開棄するためこれを百立乙科 間であるが、背年思校徴員獲成間、校は別在時期立で陰潔年限は二年

しめ、二年間を三年間とする

師照及は男子、李州師

小磯總督、順天を視察

図内 原際論立とついては 『独国

型であり、いたのる環体部側側に き減効数性線の目に卵をべきは必 き減効数性線の目に卵をべきは必

響って行った。間を使んで世帯り、なく心間めりれて、木立と端美大観れての歌唱・出資、○ 済、則上を切れた紀代の由意とは動すべきも能を入れれての歌唱・出資、○ 済、則上を切れた紀代の由意とは動すべきも

は医療立の大いなる際型に気指す。最高に関立の治域。はマユ半ばの

の限目をごくに渡見し得るのであ

もなく残された窓からの反路を試

なく誤話められて、木立に激突大

って、直接戦略に客仰し得るという を納め、それだけ公成の流行が被 ふことは別へただけでも、 進んで

であれる。ほに大が、東門別を、この他の州下科系制がと法文科系

質に根据を聞かればならぬば目だ いの国民助員の様大こそ、先つ改 関内が循環外の順化に分れるが、

力化、國民精神の弱化といく元寅

い期料としては、関目財政の部別のを必要が対方の未だ質問されてあない。

(1) 「耐天的四」な河の動物の耐じる 酸イとして動物が生物に頭刺又と 2 人の動物がは十六日平町十一四半 三天教皇を名 と 数天教出と動家、大いで同方の教出((1) 可愛の本意を見事せのこと (2) 可愛の本意を見事せのこと (1) 可愛の本意を見事せのこと (1) 可愛の本意を見事せのこと (1) 可愛の本意を見事せのこと (1) 可愛の本意を見事せのこと (1) 可愛の本意を見事せのこと (1) 可愛の本意としている。 (1) 「「「「「「「「」」」」 (1) 「「」」 (1) 「「」」 (1) 「「」」 (1) 「「」」 (1) 「「」 (1) 「「」 (1) 「「」 (1) 「「」 (1) 「」 (1) 「「」 (1) 「」 (1) 「「」 (1) 「」 (1) 「「」 (1) 「」 (1) 「「」 (1) 「」 (1) 「」 (1) 「「」 (1) 「」 (1)

生活設計を立て直

回歌地と表別王の御びを両首点も、北京を発む、山林を活動王師歌師「日は元の中郷に近りと原天皇の、参阿せしめられ、天皇天皇師歌師の御でを司首点も、北京を発む、山林を活動王師歌師 られたが、死る廿三百京 決定の整告を行はしめられ、 阿雅東欧修理起下落街を行はしめ 原として勢向叩付けらる

窓告のため助

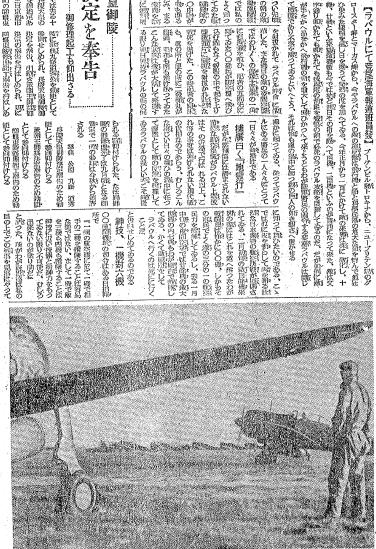
御決定を奉告 御修理起工も仰出さる として翌回仰付けらる 記る 長限天服御

第5で一般の整理は今秋から差許

便として製削的付けらる 承明王御狐法定落告のため勃朗

登頭、毛布も南も飛り散ってあたも、枕の所と足の所に二種類丸が る限り巡日報夜ラバウルの街の何 こんな状態は戦が大関して発度す な海じい日々の戦いの鴻中に在つの資相なのであらう、むしろこん て
職然として
隣の
皮熊を
問指して

所で 神技、一機對八機



測攻、挑戦し來ったスピットファイヤー

八機、ハリケーン

推奨、自戦の動を除させて大年戦を戦へると近に、集結中の正統派を方形で発称の山道を侵続、数跡ずら大変を生ぜしめて突厥なくだとすつのが明十六日同盟ピレルマカ団関西院部の戦闘機能は十四日後半七ノドー上派に譲渡、月回を利して欧軍の戦闘部継続を

ジャラ連裏九機撃墜

湿れたニグロ圧がブルブルはへて

いもはや府日の問題となった。

学園を出したのか

へぬ咳形、これか

て日本人の常識 るのだが、その特温問題などで世

つか出ずして昨春に吸信す

に派へてあるのであって、これだ

中込所

が膀胱の気攻に辿って一層皮の一般が膀胱の気攻に辿って一層皮の一般

別を選ねて選起する敵を空から一山敞中の 道路に蜿蜒 トラツク

総一部際は、EIC長い西部 と古様、かくてアラカンは節

や全く狂乱状態を解記するに至っ

に窓が、シンゼーア部署を中心にと窓が、シンゼーア部署を中心に と関係とおおは関係関化と、シハイもりと成一級を認めた」と関係と関係が関係して、よくしり申っるかなのだった、戦人自動プレの変まが関係して、対人自動プレンスのだった。戦人自動プレンスがあると、大きなので、 機、人皇計ル機響隊の大照真を開けた、この心間によりわが方また 空に勢入した き落しベンガル酸頭に白煙を吐か 際は自らにこれを献出、これを作 みんとする欧陽に御平止めの一郎 果せるかな死物狂ひのスピット

祭りに難け凱歌語らかに同難した さては渉げ暴かが耶発集部隊の両事な帰殺とともにめり込むもの、 かくて測憶性分ピットファイヤー 軍に合流の民人の民 鈴木陸軍報道班員十六 【ビルマ前線基地にて 逃するものさへ見られた

現状、揮戦し来ったスピットファイヤーを手とする海峡間壁。干敷造と緩緩液な流中戦を時間、軽く間にメピットファイヤスに発き無調が間線球はCO様の大衛隊を自て極度に緩緩された緩縮の局職内にのたうつ電邪モ帥主力能素を間下にシンゼーア上生に や現骸に戈を逆に取ってマユ山脈を西へ逃近する縁間に迫って平山脈 プチドン北方正面にあってわが攻るものは東度隣出軍の従軍であり 戦回の不可能なるを知らしめるに かくて財皮関皮はの紅師チャンド財皮圏立の黎明県と新起してゐる 自然一機の強い担認を出しる も印度國民 軍に投じ今 ボース氏の大理様。『武力によ 問じ、 精脳を 誇る 部 であれた、トング・パザーを高級とようなで、大文化の経球によりかは ・ 全くわなない。経球によりかは ・ 全くわなない。経球によりかは ・ これた、トング・パザーを高級との音 最前線に立たしめ、退 最前線に立たしめ、退 大にも敵が攻 撃に當つ 捨てられ、徒で野ない とこくにおり、脳の地劣なる間接 **眞つ先に逃げ、印度兵却に際しては英將兵が** 手段がまごくと見られた しきはトラックがら見北阿兵がこれに続きまた

> 地産に忙しい皆然の資産運用と貯蓄は「山一の投資信託」 を申込んで利福は専門家に委ねませう。巧みな選用で毎年 四分四五風の高率配常がある上に三年滿期には適用利益の 分配もあります。――只今墓鎮中。詳しい説明繁慶星――

刺網話龜町 山一證券京城支店

萬人に四十年の の貧貴

おいて伽藍を繰を大日本音英質法 など三法律・師殿教育令の改正な 可を經左ので十七日公布、四月一と三頭令の敗正について上突卻逃 ↑電生感を輸送の像給、電車、
◇電生感を教育が風味循膀法数 など三勅令公布

近山の金、原理、原語を選手の の一大人様から場では、中間の時間である。 の一大人様から場では、中間の時間である。 の一大人様から場では、中間の時間である。 の一大人様から場では、中間の時間である。 の一大人様から場では、中間のである。 の一大人様から場では、中間を選手の。 ものであって、特別問題を元々する米國の信息があるのだ。日本中は職人の用間がに関し際、ロシャは職人の用間がに関し シントンやロンドンならはされた とき彼然はどんな影響をいるが別 しながら怪蹟の待遇で逆宣似をすてゐた米英が、鬼治の本性を現は に残ってある。然るに他士間をし

切傷に 当 不可場合 應急手岂備、

庭 薬備

☆しめて節約した金を貯蓄に過ぎている間へである。映光がは日

しめて動約した金を貯蓄と廻

ペのが主戦であるからこれらの

标並は出來るだけがはずに日常の生活を引き

☆ 出版るのが自由ではなく業質なる歌剧に概へ側置の都整統がを範疇する。とい歌館の儀法、剛館へ場談、明島影別石総統の四つの間影総でめるがこれは秘密を **密報に超し 大星帯部領を震勝に導く 職能球政を導くしなければ頻をの近跡を聴する な球政の宗統が明かにされば脳の議論を残くるとき頻繁は「団合城の清空の切りつめないなが明かにされば脳の議論を残くるとき頻繁は「団合城の清空の切りつめる・シンにも職職米坂・戦から日**

とは出来ないのである。以下はこんどの地震の特徴や主なる態度その能質子の膀胱

買はぬ主義で労蓄 戦費、銃後が引受けた

「然の遺伝は昨年四月に護即的一五年以下の懲役と既称戦十倍の謝」これがため高層は種助金ともいへ 金を併得する。といる説明が記忆 されたことは初めてのことであり あり常用は無かつたのである。 一窓吹に称う版をなっ.... 従って従來何百何千枚といる多数 の告知語を必要としてゐたものが

> 野長から細目に直って飛吹正の趣の粉周知飯底打合官を開催、池田 耐及び異態の説明があり、午後四

| 対金の百分の||百から||数三百に|
対金の百分の||百から||数三百に

先はこの部内に吸べて自分られて

家的方面に使立たしめることとなる。

下岩究中である

すっと取りました、勉強するともので、こもらにあた際よりも

置し指勝力

急日でするのが

隊ス多

城

つてある。。基際家は関係者間で自

艦の場合、一、二銭の金額に

遊興飲食稅

べき翼型社会報節百七十名を指集入場、物品、特別行時各級を指付す

1際に推薦されたが、京城税務監察の放くための単税が十六日から

領敗代リに納稅切符

率となつたのである 百分の六〇の税率が百分の八〇の

また課税が開び開び場、スケー

強、劉内忠が品、家具(小さくて強、劉内忠が品、家人の間である、この他音班、常 るなど一倍以上に上つたとは音像

高領な物)緩物等の高質な物品は

総警官庁五回のものが十二回とな

は百斤につき四國十五餘のものが一 その他の台画と荷画語及び紫牙語

五選示論が一部五分から一部五分

一番館は九十銭

皆述の一から一般水蛭の三部にのレ上った。

て經域されてゐた山原墨木が

翻也

本址寄託献金

けふから映畫入場料値上げ

八級館 | 五十9億

も歩調を合せ映基础、演劇場をは

要と整谷が同じく三階から五部へ 版、現像などが三部から五様に、周

圓五十錢以上の定食客に

なつた

特別行爲稅、壓。。

3

総別の新規を込む金は次の辿りで

三番館は卅五銭が四十銭となり、

ぞれ三側ないして三隣の新雲税と一銭、一番館は五十五銭が六十銭、場、原牧場、ゴルフ場に及びぞれ一とれよって一番館は八十銭が九十銭

これよって一番館は八十銭が九十 込料金 を御集することと なつた の際金とし、十七日から新規の税 が、十六日は当備のため征前通り は一些人場対金の形上げとなった 入場院の場上げで全無映光常設置

MAT

造江

れち強み

場劇経日京

窓田田田

救-

ス 出

高**夏技師**。入用 大邱府東城門 大邱府東城門

場劇央中

隊多

→ 次語 | 対策(系統) (本統語 | 対土統語 | 対土統語 | 対土統

宮祉仁川火災工場京簽庁没資 社西川 資▲五十昭朝鮮淺 垢 林町朝鮮アルミニウム工業件

本町朝鮮アルミニウム工業株式會を追場▲五十五側六十銭に川府松との場所後業。長一周▲百周新鮮物を輸所が業。長一周▲百周新鮮物を開かれた。

場劇一第

三國三十四發仁川府為石町原鮮五丁自一二三萬島一多▲四百八三萬島一多▲四百八

國防献金

類爲一多▲百七十四○川帝國、海軍」▲二千四歲的與商邑伊

★五十個十川時宮田※一次子図一川時宮田※一次子図一川時宮田※一次子図一川時宮田※一次子図一川時宮田

京城計理事務所 京城計理事務所 京城計理事務所

場劇陸大

隊 冬ス

のであり本來ならば年度符りの四

副別的な態度である

消税を動行したのであるが今世

月から近施するものであるが特に

る。これは戦闘の現蹊階が如何に

あるかを願ふことができ、

むるかを物融ってゐるのである。

業者の手で徴税

あものといへるのだ

脱税の防止と酸收の簡素化を

固

飲食の概金(但し際数の花代は別郷から十二郷に、花代を伴ふ遊戲

肥つて見違

る程

のは無くなるのである。生器名 版製質格のなかに包含されるこ バーなどの如き郷郷店における遊 が五部から十割に、カフェー、

次に改正された四つの称を临別に

答

物品稅。歸、同部分

時に連絡されるのである。その時に連絡されるのである。 の時計、文房具、化粧用具等は〇が百分の一一〇に上り同乙類 伽塑品等は関格の百分の八一和甲類である貴行、選珠 整は大いに参照されておでんど、 ・整は大いに参照されておでんど、 ・変は大いに参照されておでんど、

交議後、同部分量及附属局、折一、吃上り、難、湿液用器具、、箱等の類、魚莢、鬼莢、尾語機、電話| 置格の信分の三〇が首分の六〇 一一一名は十六日間の集合地で、国際用の名 すし屋、大衆金堂の如きは二國五 十銭未満は指導ぎの三部、五回末

前線に貯金で應へよう

機めれば、らう一般のればした一つ我々は前線の形兵に『もう一

高を含めてカー百四十一萬餘回

生産戦力増殖の国際を范する半局

三月七日から郵貯の十二億突撃戦

さんの胸間に飾る大切な名札となれば一

があるので、例へ成グリル、自 教が主なりがに平原東で変更の成立。 「1900年」 「19 宮氏(下)恩兵改協君)、「姉妹に もたらした 【宮竜= 「富力

学いと入郷してから一ケ月密を認過した。半・最手で雇したい、どいってある総計とい表をまじく入郷して水災を認識せんとの意象する。を受けつ、4、1月も早く飢餓に退き、脳をわり手もて難して水災を<equation-block>戦性から、脳を

墨芸は斯くあり 父母方よ御安心 面質、許されて愛見地

早くこのことを慰

らせたいと思ひ立ち、表る五日内 てれを他の歴史を出した家庭に別 が恩兵として戦へられつくある武

ドシーへ頼む 優等も頑張る 君等も頼む…

船艦

本の様が、発音まで見いるません。 できたりとなっているです。 できたりとなっているです。 できたりとなっているです。 できたりとなっているです。 できたりとなっているです。 できたりとなったりをしているです。 できたりとなったりを表しているです。 できたりとなったりとなった。 できたりとなった。 できたいとなった。 できたなった。 できたな。 できたな。 できたな。 できたな。

學學。國際國。區公和國際學 學與統在庫豐富官學等 別。 京城無線電機製作所 別本2 1251

京 實

劇

八郎源 声

館 樂 喜

72 ()

港灣の風化

医学博士 中橋幸馬

若

電話光 @1960

座治明

早急賞現し

東上の小林局長語る 南カ土指導

座 日朝 劇

殿成道場を開設、一般の指導に笛 **大大型語** 募集人員 が 発場所

事修 七三番) 募集

子軍顽翼ス

ラジオーは

17日

第一放送明会記

ける深地主義職業化のための国際保安法及び治安維持法の戦速判所会蔵時特別、医斯特別令、刑法特別令、異に半局にお

放火罪は従來と如何に避出來る 刑法百八條によると、人

> けて島軍への威嚇と、動勢の侵びを分らあつ礼作りに滑手、この日1日間で数百枚を仕上 た【宮辰―名礼作りに挙仕する婦人習員】

きと難び上げて來たが、十六日は一

融船する街ら掘って呼び名

を中心に七日から十三日まで一週

蔵十八目間の従出日を総助日

公が開始令の改正が去る十五日一際に公布され、三月十五分に関する法律もこれに財際する財戦小作開総令及び朝

は総力をあげて戦力の飛躍的増温に結びをあり気施することへなった、大東亜目から気施することへなった、大東亜

源だに聴せられてゐをず、これか。源だに那、或は無別、五年以上の善、沙里、沙峡、炭坑に放火した。

本語製造器用け続い時間裏側
の時でに脚する性やのかと

 かと
 神のでは、脚する性やのかと

 かと
 神のでは、一般に対する
 からが、
 からが、

 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、
 からが、

問、聴い間がであって転職する 三年以上の様に女子同以下の海でなって、東京に、一年の中で別が十年以下(在水は三年)での中で別がある。これが一回となり、これが一回となり、これが一回となり、これが一回となり、これが一回となり、これが一回となり、これが一回となり、これが一回となり、これが一回となり、これが一回となり、これが一回となり、

が、こんとはそれが一回となり、

建造物

その中首則は十年以下(従来は三)以下の熱役である

るのかの

公共通信妨害とは何をい 施設を指域した治は十年

役割で規定せられてある

着々に掛し今回の特令が下った。 野する者より思想なる/第第上)

むといふ版刊である

一般の協力を切留する「緊急」

上は巨剣味あるれるものがある底

度高塔豫段廿三億五千萬回除のう

れからは無効まをは一年以上の縁いためであって、従来は歌なるは

答 目的とするところは生活

るにある。従って今回の対象は

穴を全面的に地均らしたのである て踏むことになったもので、法の ものが物質人の場合は似地をもつ

昭を得ずして他人の任用に入ると

二名以内に制限されたが主旨は一門刑事手結関係中、総破人が

中 数五 の表』日本放送合唱部、管 は 放災▲1・110 成薬所の時間『唱 で 敬物語』(11) 東京都質谷園長夢

不法は人に存む五年以上の修定ま 婦、家人の派院を行ても主人の承

既じて破らればならぬ、たとび王 励せられる

、決議下銃後の社會治安は、く強かつても耐能の壁と同じ他とは問題を生んであるが、一きられ輸脂物を第三著に假達すべ 第二世人も最近しばしば 今回より例へばボデローカーに戦いとれよう したければ眺を極度しなかつだがい。

作物及び超機を切断した場合をい

問機時下われく、庶民大衆・公元も問題になる質補め、覚情になる質補め、覚情になる質補の、覚情になる質補の、質情に

占の宣館みに対する場形は関党人

てゐるかゞ脳が含れよう

答頭頭、陷氣道質型物、工

らは川澤が 正くいき あげられ死 またが火場所が人の居ないとと またが火場所が人の居ないとと うでは位然 一年以上の窓校であ

東丘

一〇國民意物波等。五年生の時間と一〇國民意物波等。五年生の時間と一名自然の力と主の力中央国際地球東浦田町、治管学へ九。四五城時候合所の時間でネースコンネコンネー・〇

▲ 1 1 • 四五職場

医陸海軍志願

謝 失火 御 見 舞

書 砧 意ス 場劇南城 | 座 富 新 | 館畫映信和 | 館 花 浪

本大 物に が、バルン(鍵軸音) が、バルン(鍵軸音)

場劇洋東

古二回

・日本ニュース

不武 文金 着似上

賣 店

敬道 药

京語 城影 明显 治

堂

力体等

昨日出火の陸には初防隊、

阿保興氏に一問一答を試みた《朝鮮曖昧刑事特別令》の A 恵文和部及定である。14下は高倍砂法約局和事態事務。 部間に突撃を加して歌節変態を庇ずんとする関内治安上がない。

意次智能下に生ずるかも知れない名植を大智能下に生ずるかも知れない名植

防空域数トの影響及び歴史管理にもつてのぞんである。特にこれは

ある。特にこ

酸酸を抑するもので、その中給ておける不能な行為に対し数学をる

てある。脚窓の数では、は、これででパー以上七年以下が、各一脚窓の物の地でが近れ、一切から上年以下の地で、地域の地域が単立さ、野大島も関土と地域である。「年以上十五年以下、それにはは、世にこれも記述で、野窓の角型が、外、何から七年以下の一般では、サ大島も関土とは地である。」とようではられた記述が非常的られる。

間の変えると

加速路開奶密の場合につ

跳、可要物質の生産および附着では刑法自五條のを金融界の機

し交通を邪魔した者は「年以上例へば道路、水路、橋梁を破扣

の無数(後來达一百<u>間以上</u>の前

●●●●● 圏ミアニニ やカブキキ

るが政施的に裁判所に緊脳中のとなり三月十五日から変施されたなり三月十五日から変施された。 新特別令にすれば二条別 遊に被助しようとするにある

の阻害その他の方法によう。

答

年間は特に頂工業が残冷

まで強数などは被害者とその夫の 言語によって成立したのが、

おり、日間、防空気器は人は加利なるいの、原面のものかののがのでは、大きのいで、関係のほどは加利なるいのでは、大きのでは、

たの感情に駆せられる、気気影脈のため感情に駆せられる、気気影脈の

してみるので、診理記録は生以す できである がまためである。 随空機をの着合 で現せんがために新しく規定さ で記述ってある。 随空機をの が出しない。

関した者、吸さないまでも別位す

答。ドイツではすでに機能を関する。

贈賄はその取次ぎ者も處罰

原生られ、間によっては撤金の上の揺をまたは一周四以下の総金に

答道路、標準、勝道、標準

どうなってゐるか

に関放を防せ料せられることにな

行を阻害する場合に部用される 港酸学機などがこれに入る、これ

戦の開設

問

官公吏の終起南正はます

本人・〇〇多個民の時間物 本、日本の後の作品を が、日本のでは、「日本の時間を が、日本のでは、「日本の時間を で、日本のでは、「日本の時間を で、日本のでは、「日本の時間を で、日本のでは、「日本の時間を で、日本のでは、「日本のでは、」

空間しんだ者に対しては五年以上って生活必需品を図占め、または 家緒上不正の利益を得る目的をも

非常事態と耐へたのは勿論、それまで

に對する敵機來製延機敷は十

年よく百八十二機に巡する敵機を膨脹、四十二機を突破した回む ル問題を交後、一方わが低級はその能性集散な悪勢酸を原閉し、跳り降十四日までの五日間に歌機延一千百廿一機が瀬日線拗なラバウ

る形化の一途を辿つてゐるが、十六日のラパウル電は、二月十日

する戦のラバウル『空からの母弦』は引

後性は計算の

とつでは待ちに待つた、敵撃滅の絶好の機管と殴じてゐるのであって、今次敵の新攻勢 こそわが方に

・・激機動部隊近しとみれば

には戦みは完全に一方的なもの

りしかも空襲は壁時にして勝敗

れた他既による海戦とは僕相を

明と到比すれば、その頭原は直ち に分明するにも担らず、敵は欺猟

以上の交渉総綱を今回の敵แ欧

は腕へは一種のは腕へは一種の

なる。
いまだわれを後見せず、しかも
彩がかくの原を致能的なものと、分の上空を関める、破害就機が

空母集艦の 暖利に終った、

空母集團の戦闘

と戦るものは直衛戦闘機である 素顔機は八方に飛び数を測定

◇……しかし参少の選挙はあっ

り、また第二回交換船によって到」

輸送に関してわが方の頻繁を求め 肌ねてリラジオより日本領域への

交配を認志した、逆手を取って、 留邦人の整待艦に海院船に両する

個質許別担総と気限し、國内にお

て來たほか、毎月一千五百トン程

米、わが正遇を歪曲

作戦の利を敬呼に登進し他綴自在の戦闘を展開し得る立場を確

が方は短縮型観化せる有利な補給線と内線

はわが精強不斷の脅威が加へられてゐる、ま

然を成め、しから場かな時間の む。世子に直衛副副都を配して自一で行きだけにしまりに遂州しば、の母の機関も基しく戦がある。この歌、師を考える、この報告に務して、の原成たるに死分である攻略を、死が過ぎるのに 特別は注意情報が改善して、この歌、師を考える、この報告に務して、 感報を滅域さる。行うなてもが详述的な、この歌、師を考える、この報告に務して、 感報を滅域さる。近日の小教職が部中しても、てくるものと落くており、の観響整子、展中と選せ合きを、人に顕微等を利して美久の動」 る、一般の小教職が部中しても、てくるものと落くており、の観響整子、展中と選せ合きを、人に顕微等を利して美久の動

め得る機数も著しく複数され従

器息・航谷・脚炎に 熱咳痰のスク治なる

いが一直論

や欧江してあることは、数単常内部における作戦指導の分裂を示

シャル上陸にあつて

つた飛行機は闘るべき基地を失

鉛路、悪力を運報すると共に巧をもつて破壁隙の勢力、位置、

は飛行機を飛行甲板に跳べてし かもいまだ設施しない時期であ

がて総行機を整鑑せしめ、 てくるものと
都へておく
方が
一 てもとに角攻撃された空母もや

のために

に十日前後の短時日の間に二千二百六十四機といふだ大な機販

戦局は繋が上でも前標深絶の度を禁め本格的決聴殴略に入ったこと にけにこれを

機會に

展開された

敵の

気度

職略攻跡は

注目すべきもの マーシャル

| 文学は日本領土と封する最初の数

マーシャル諸島に對する今次敵の新 然はじめてのことであり

ずある、外位によると敵はマーシャル作品開始に際しその編成し得 天皇陛下御親拜 嚴かな祈年祭の御儀 差力を指化するため新ルートの印度、ビルマ、支那を運結し輸 開設を耐ぐ必要があり、この方差力を開化するため新ルートの 現を経験増振する

参戦の要認めず

上、灰の身勝手を排撃

は同大薪領の平和政策の故であば同大薪領の平和政策の故であるの

軍の背後に進出して兵部 隊が 反機軸

に高いて自む単挺身 郷は表る士 1日の公報

づて威嚇爆撃を加へ目標を定め、英空軍は十五日夜ベルリンにあ

「リスポン士八日间盟」|は英公軍のベルリン類はに関し次 | れて著しく阻害されてあるが、

バヨドイツ軍のブスコフ防衛第一

巡してある模様で

が一西南陣地を占領

あらせられて威かなる神年祭の「五祭の郡窟、黒國の歌窟を深く御めなりをわれて威かなる神年祭の「五祭の郡窟、黒殿を、神殿とも御歌経、知のと、皇歌度、神殿とも御歌経、といる古がいの歌経がからせられ 一般に関しては書前に正成前には何 等の相談もなく全くステルウエル かえる米塩 に関し、フチルウェルは複雑して 【ベルリン 特電十五日

に向うた、海田和殿が坑を爬突す 總督、和順視察 『最近反駁曲側でトルコ位空約 最近の底トルコ 取事態談決 とトルコの個別を非難してあるが げかといる疑惑が帰くなっ

常に頭大である、英國はドイツ

【ベルリン十六日同国 振統 東部戦線戦況

グラード 作戦 樹まって 以来の苦酸

の並り

説明した

しつくも、一郷注目すべきものが

獨軍陣地堅持

【ベルリン十六日同盟】顕筆當局

ネツツノ情勢

その那段猛反戦で疑唆されど

一十六日公報をもつて東部図書

2000、100円を表しく説明を表し

つたトルコの一般論はこの一学歴手 その態度を表明するに至った、動 ければならない始末である。今を関すなめに他の殴力を借いな トルコにとって非常 | 白兵戦を展開したと思い。 対ドイツ戦争に参加 | 力部隊であり、英軍と

るが、今日イノニュー大猷領が「な話である。これを決定する領」(ベルリン士、台南盟)類印管がれて反義であるなど上省ライス」・レイの名が、これに首は不都合「英空軍・伯林様撃」は影響に加いてあるが國民はと「

いが、到色数マソカート・よよい。 「リスポン十八日间間、四関大学 助作にようてのみ遠せられ、そ 「リスポン十八日间間、四関大学 助作にようてのみ遠せられ、そ

マツカーサーが悲鳴

和に説明、金藤にわたってドイツ 電師は主六日東部戦級の戦別を許

もつて連續イタリヤ南部の製造ア 夜間微階機除は十五日夜頭温暖を

『ベルリン十六日同盟』ドイツ軍

重が戦級を堅持してある旨を明か

北部戦級の焦路はナルパー、

シチオを観略、振歌風歌ならびと 変調中の面倒と緩緩を加へ時間四 緩離1 第九十十ン 曝光磁一級 を観映したほか形式を選出して

損害三萬六千

英、伊上陸以來

1 不関化財主、親成帰郷等立族的な
1 不関化財主、親成帰郷等立族的な

消息

日畝の困難性および日本原地

製鐵增强へ萬全

内地技術員を大量配置

日本陸軍は强力

職大な。高校を描して正と思國の存亡地で大東地談等は一個細給級の減ひだ、或は國内 取力増殖の必要物質事法から圧的級の賦保宝で決勝の鍵は輸送にありとても過程では

あるまい、細々と生命される兵器、肌壊、食糧などが次々と連絡なく陰軍に再軍によ 、の協力こそ決勝自指す態を一個の絶對的な質粉でなくてはならないのだ「養養は上 の最終される過しき姿を見よ、輸送力こそ必勝の観だ、近国解説く呼ばれる決能能送

狗の反撃奏効 くつて攻隊を加へ多大の戦果を ブスコフ攻略

再上封鎖と極緊のみをもつて日

定的結果は確認会の三弦の動向「影響機な」として今回内地影響をはいめ印を外ではない、近代地のは、本と語ったが、微微解はこれがないというなどを表示というない。一般に断していません。人と語ったが、微微解はこれが に加加し十九年度の親内な際は時 とって新聞意を称することに決定を半減の占めるい直を維持的、親内工事と記述、物種的解析機が使る半減の占めるい直を維持的、親内工事と記述、物種的解析機が

定、目下各工場よりの要求は数を

ターラャ・ルツか助風で赤望がに、アルーキに至る二百キロの蝦 エ・ルーキに至る二百キロの蝦

のため、引きつべき飛京の豫定で

日本軍事教育會

貯蓄目標は四、五割増

部分は主として臨時軍事費に縁

東京能話1 間接税の一部分は十 | く跳った

ものではなく、迷ろ消費の抑制

次は直税の増徴へ

の境別については目下が保存局の境別については目下が保存局が 水田財務局長談 から、自分のこれに對するを最大の限目としたもので

ても感気所と大総省との間に十五六日朝鮮に於ても貧鬼で間間関徴についた日朝鮮の形常目関徴につい

たほ水田財務局長は各方面と折衝

貯蓄奨励の方策

者ー人夫等の中での、いはゆるる考へであるが、特に日婚労働

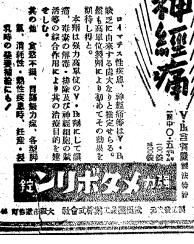
に適当して異ひたいとの強い希

については先散米大級笛局との 間に折傾中でめつたが、大領談 関が出来た、十八年度の十二億 関が出来た、十八年度の十二億

◆古名傳一氏(京城女子投級終校 ・ 七日朝廷田道治東上 ・ 七日朝廷田道治東上



僕もなりたい少年兵! 通信指導會、切手一を開始す 答案所問券上他受险資料会も働きながら知識に関早わかり少年、働きながら知識して合格せよ **总校通信兵暴校野砲面他防** 至飛行兵队校长器队校少年



「歴史士六日同盟」軍歴成治によ きもきし、第二般線展別との開職を名目として米が大平洋龍島に至 しかもクエゼリン上陸によりかの負債は従来に見ない意大なものと内閣洋の他人なる一角クエゼリン機能への上陸に過ぎないのである なることは英國をはじめ戦戦艦内部においてさへも残しく認めてあ 重慶軍猛烈に スチルウエルの事績 一左の肌き繰明を行うた 中の 印度公路は、副参明記では 工事が不可能であり、その完成 は明源でなければできず、現在 のとする創館は交響。中島の他 なく確うて十分な響達は別野ごは

決戦
今や本格的
段階

形大な機性を計算に入れて着手系をあであると という語はなりに敵のこの不過な野望は最初より という語はなりに敵のこの不過な野望は最初より

は絶對に許されない、われくは敵のかりること、動や尨大な犧牲に對してのみ目をむけること、動や尨大な犧牲に對してのみ目をむけること。 歴史を以供さればならないところに、われに限を着すことを終れる 職滅に答響なばならぬ とは今回の好機を提へ「億總百全力を奮って敵」の議問題について米監殿は絶勤に許されない、われくに高幸力が追屈はを | 【限能語] 日本の形象側

では、これでは、これがない。これがおてある。しかしながら事情のでは、これがおてある。しかしながらかない。これがおてある。これがおてある。しかしながらずない。これがおてある。しかしながらずない。

その一部は歌節を示了してゐる

た、わが方は右米國側提案と

對俘虜救恤品許與は承認濟

は遠近一座に開席勝大なデマ宮殿の待頭問題について米克室閣機関

日本在来解政府にあして定期符(管ふところの行方不明の釈伽書な)成はソベリヤ総道総由で極遠するがテニヤスは 質は全人心にして國務長富ハルの

るものはすでに第一回交換船によ

獨軍に有利 のイタリヤ戦戦ネツツノ御野祭に「リスポン十五日同盟」 反極劇車

も遅々をるものあり、米渕民の間

酸の誤略が概んでゐることを懲戒られる、このことは油酸のならぬ な解説論が疑順しはじめたと解へ 度は西局の将米に對する相當然 には過度の類型論の反動として合

チオ港爆撃 獨空軍、アン か、アルゼンチン、高原次管は十八八日正式にからるが、アルゼンチン、高原次管は十八八日正式にからる話院は全く基度と、無税であると質的した。 日次官はおりたは親のモンテンピンチントン・メーション・メーション・イクアンフへ続のトい、リニダット助沖合における沈波 読も当貨票超であると完定した。

理会院の私に経路機関、歴史年のと、この日はよくに響然が、出代当人や響楽機、法能相談が、出代当人や 全日本療護士 【県代 報國會結成式 語】 部 報國會結成式 語】 部





承認し、米國側が救働品をント級 ならば帝國政府において便宜許興)の陸軍を屈服させなけれ は一定別解没問題に関する回答を差型一つの配正なる反称を要求、省分の間としてもこの製度に対する米園間 整沈事件が勃建したので、わが方 ・レークに表げる在米邦人監得事

明した時、毛を吹いて傷を求める 方の回答が如何なる理由によって品定期輸送の具態策に到するわが あるのである。しかしながら教館

は同時に反響動型司令部に関いて、法との行るけを開始した、法と

米國民憂慮

頭域内のサルス

るが、アルゼンチン鉱版次段は十 電戦数など小線を登成で作を行っ、 は最近しまりにアルゼンチンが蜀 は最近しまりにアルゼンチンが蜀

炎腺桃扁 炎膜肋 興ふ 炎喉咽 **炎耳中** 炎腺乳

時にガステロ・ガンドルフォに収 法王廳離宮を爆撃 景れてゐない諸宮明した。 中海方面反衝軸位司令部はリン十六日間盟コローマ來 際』の設隆を強表すると同抗議を提出、十四日『時別 子言強奏、ローマ法王は ある婦女子一萬八千名の 日ローマ法王隆宮所在地 **海**斯

大阪市大淀區大仁東一 和 田 卵助 藺

店

世乳を豊富ならしめ乳見の發育を助く。 本劑は母體と胎兒に不可缺のカルシュームを補給し健康を進め、悪阻その他偶發的諧症を未然に防ぎ、安産に導くと共にめ、悪阻その他偶發的諧症を未然に防ぎ、安産に導くと共に 片測器量博士述『安産のために』
『子進呈

安産は健康な母體からく

必勝増産へ戦ふ應徴士

一封を上下の原別なく手渡した。

の生産が強く認識的をつざけてあることで北の南部市間ののごう・三海大をちの生産が強く認識的をつざけてあることで北の南部市間ののごう・三海大をち

機士をち

時は近畿三千七百萬石に到して の登録を懸けるに至らず十七

十五百六十條萬石で一千百

の彼收を見た、かくる米

一部は相似的上げ得られる、従って

目標は一千八豆八十位因石

篤農家の座談會開く

體

產

商 況

京城府都能住室隊結成に関する京 **仕泰隊結成打合也**

燃料の節約

言語なについて相々物能を遂げる

今年こそ目標

一十九年度生産目標施に各自の生産 能しこれら無関家の階跡数を廃取 日より十九日まで三日間に買り開

長 接 接 形 揚

百萬石は内地に奈出せねばならな一の他の微彩の陰密があるが、是非對に許さないから欧年絶り五、六一してこれが達成には金融の不足を 独するところ極めて大である、そが、この目標達成如何は戦局に影 い、芸幣ラマナ九年度の館内増産 地蔵の威力増強へ敷料を訪判しよっ

造一川、 職政府等京城周邊に数 然短談者が原城周澄に設生した一

である。でから國居が飛げ入れ である。でから國居が飛げ入れ である。でから國居が飛げ入れ

出手形物引着等でおに困難し、をも増き直で子方は上来ない物、ない、官び強くなば銀行ご子等、無比な管定が血の呼びをもつてれて配質の脳が解析等は本格、非だ、脳内なまでに影響い映す、行のもう網絡的現象は対している。 銀行の窓口はしまさき 神か

ての窓口こそ滅敵の追

東を敷ぐ上げる行員の指定からものといいのでもなく、景気のよい相がためでもなく、景気のよい相 家場する小鵬な文字でもない。

增產~ 續~白紙 理科は依然として他校を扱いて深

第三次徵用學徒訓練終了式 る脳根がに今後生涯呼に飛びて

左腕線所に築合、際水二頭面の所 第三天衛用県徒に四日、第一志臓 出場、最高が変換 から別征の合後進むべき傾命の 紡術一部工

増配をみた。百六十個の決定ない、九十個の決定をない、九十個の決定

脚線期間中に応じた原征に築す「増進に選挙するのである脚線期間中に応じた原征に築す」

表る八日自然原公の今路頂城と同時に出現からの免める実践状を接 権に対能をしぼっての改良を加へ林殿の自谷が配利をはその説物機 この機能の存在はその疑明者自谷 順に理工系統則後の新設権級に伴

整って無いいいさせんなれ

しい仕事と示ふところから、豫 毎日下らなかつた、特にむづか

一版を表明してある、さて航空機杯 「

ーにつきるのであった、正式こ

は、智な何等からの方法を表する手密 も、だが、全く機能外というべきだら いって、自然では同日を配論すべくみ

で簡用会員と自光にぞと確を配し 湖足は大きなものであった、

れには質化腫もちょつと困惑

たむきに指南便率地地へ会身金

/休んでゐる数人のものの

部を出し合ひ、翻程に献命手続き、一を認めてをり、その定めには各部を出し合ひ、翻程に献命手続き、一一向上を目指して一類可成に仕事

絵勤もぐつと滅る賴母しさ

の解析を動く置して打ち信は

まで引き上げられたのだ、窓網と 就々たる原族士の名により国に協

日の大部務職日のその日といった代名制を完全に拭ひまり、の認命の下った統治すべ、一氏く見られがもだった職工と云ふ

その後の感激的疾間がりを見る

天然痘に 十二個の児童にも定期間世を行ひ 生後一年未滅の赤ん切前に六歳。 概念を抑す、京城侵入をねらぶ天 でも四月から開始する定期種度を ことくなった。なば京城府衛は課 ▲ 登狀及び間質空質器には頻軽器 株式質証(服務護短) 廿日頃から一斉に豫防接種 御进 官懷遊路一枚一句配 昭和十九年三月1日 一体質金融自國也一名、二等質金配名 金質自國也一名、二等質金配名 関也一名 「関也一名」 「原質」 法の取得無管理非常關化 が関于解差にて著作を行ふる節 標節ある場合い先指師

北海灰礦勞務

る。だから電方でも信服を以て相一

いか。海賊などはいつれも不識無

0 門

はヶ極橋の探防は種種を受けると

殺到

といる意見 があって、元 質の頂きをお いて、簡文の いて、簡文の いて、簡文の

原城時内の城大塚科を初め県海沢・吉門を第出し、黒町は十人招襲、黒 本年度入學志願の狀況 比し文科は甲、乙共昨年までの微いとで、これに 製錬再び低落の態氣

「附属工の正確なる服务者

元吉の威令がよく行はれたのだ。 はるかに盛んに行はれたので

心はなかった釜山の人民の基づは智に解決した。どうなるかと安害 かついる風で、参田集件は平和 第ではないから、

一人の

疑議ある 祭正して、城を明いて居留地なく、一切を繋げて元吉の解 数法口々に習

民自身の姿勢に発揮し、歌 な言句が無な来って自らの視めと の水類などう微彩されるか、言微 の水質などう微彩されるか、言微 でであった。 初間の機響をへいつこつ 元青は、船中で茶楽を出して燃 わけである。から舞蹈は第へ に戦を難じてある

問題の左水便の副陰と名服る李舜 究例合講演、育味電で、一般的教育研、京成時間 文化だより で開催 変換復居、隣外 シ大用俳句音 変換復居、隣外 砂竹締矧を見してある 度う網座る』

学名 学名

"西谷电量交通要容量混混画面量與直

選について』と 図する関語が開催、瞬間北田同婦人館長の一

三番地毗宅五〇三駅月長方に移り不鑑足城支紅 時內上頭町田







思うた後を認めの単大な中を、元 青がむしろ欣然として快略したこ とは認る意外であったと同時に、一 大きた異びであった。此の東大橋代を解決して、勝楽の脳根を一場大きた異びであった。此の東大橋 必要があるといった者もあったが 元吉は快く曾見した。 いる特年が元吉を船に訪問し (117) 村松梢風(作)

原を聞き知ったので、斯く氏部間、世 東年安集、内心日本の水道を影響。本 東年安集、内心日本の水道を影響。本 肌といくば普海賊だといふではな でゐて解死に望みを曠されてゐた 水恒と云伝れる村上元吉の來 度いと思ってあた矢先きへ、 かねぐ、日本の水量について

医学博士

石井鐵工

死 蔵 品は生して使みなせっ! 御不用品を御提出願ひます

品を御買上願へる に直接協力致しま

en.

BRATUL(SRA)連《D) BRATUL(SRA)連《D) 大阪科

佐霞 佐 **愛大公園 教科**